

2027年スタート

こどもNISAを始める前の 家計チェックシート

満額を目指すためではなく、
今の暮らしを守りながら、子どもの将来を考えるためのシートです。

このシートで整理できること

- ・ 現金で残しておきたいお金
- ・ 無理なく続けられる積立額
- ・ 家族で決めておきたいルール

お名前： _____

記入日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

ひなブログ | 子育て中のママのお金と働き方

STEP 1 投資の前に、守るお金を確認

こどもNISAは投資なので、必要な時期に元本割れする可能性があります。まずは、投資に回さないお金を分けておきましょう。

- ☐ 毎月の生活費を把握できている
- ☐ 急な出費に備える生活防衛資金を現金で確保している
- ☐ 数年以内に使う入学金・授業料などは現金で分けている
- ☐ 住宅・車・引っ越しなど、大きな支出予定を確認した
- ☐ 親自身の老後資金や借入返済も含めて考えた

わが家で現金として残したい金額

生活防衛資金：_____円

近い将来に使う教育費：_____円

その他の大きな支出：_____円

ポイント

「余ったら投資」ではなく、「現金で守る分を先に決めて、長く置ける分だけ投資」と考えると整理しやすくなります。

STEP 2 いつ、何のために使う？

使う目的と時期によって、現金で準備する割合や、積み立てられる期間が変わります。

- | |
|--|
| ☐ 中学・高校の入学金や授業料 |
| ☐ 大学・専門学校の入学金や授業料 |
| ☐ 一人暮らし・留学などの生活費 |
| ☐ 成人後の学び直しや資格取得 |
| ☐ 結婚・住まいなど、将来の選択肢を増やす資金 |

わが家の目的

使う目的： _____

使い始めたい時期：子どもが _____ 歳ごろ

目標金額： _____ 円

現在準備できている金額： _____ 円

制度のポイント

こどもNISAは0～17歳が対象で、年間投資枠60万円、非課税保有限度額600万円。12歳になる年以降は、教育費・生活費など子どものために使う場合、所定の手続きで払い出しが可能です。

STEP 3 無理なく続けられる積立額を決める

年間60万円は上限であって、目標ではありません。家計が苦しくならない金額を選びましょう。

- ☐ 毎月5,000円なら続けられそう
- ☐ 毎月10,000円なら続けられそう
- ☐ 児童手当の一部を積み立てたい
- ☐ ボーナス月だけ増額したい
- ☐ 収入が減ったときは積立額を下げる・止める

積立額メモ（運用益を含まない元本の目安）

毎月の積立額	1年間の元本	10年間の元本
5,000円	6万円	60万円
1万円	12万円	120万円
2万円	24万円	240万円
5万円	60万円	600万円

※実際の評価額は値動きにより元本を上回る場合も下回る場合もあります。表は運用成果を保証するものではありません。

わが家の積立プラン

毎月：_____円 / 増額する月：_____

見直すタイミング：半年ごと・1年ごと・その他（_____）

STEP 4 家族で決めておくこと

- 値下がりしたとき、慌てて売らずに家族で相談する
- 教育費として使う時期が近づいたら、現金化の時期を考える
- 商品選びを一人だけで決めず、夫婦で共有する
- 18歳になった後は、子ども本人と使い道を話す
- 制度・金融機関の最新ルールを開始前に確認する

家族で話したメモ

ひなからひとこと

こどもNISAは、満額を入れられる家庭だけのものではありません。今の暮らしを守りながら、月5,000円でも、わが家に合う形を選べば大丈夫。焦らず、家族の未来を話すきっかけにしてみたらうれしいです。

ご注意

この資料は2026年10月2日時点の公表情報に基づく一般的な情報で、特定商品の推奨や投資助言ではありません。投資信託には元本割れのリスクがあります。実際に利用するときは、金融庁・利用する金融機関の最新情報をご確認ください。

参考：財務省「令和8年度税制改正の大綱」、金融庁「アクセスFSA 第270号」